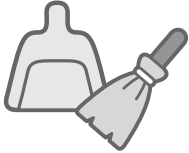


ごみ処理 にかかった費用



(塵芥処理費)

住民一人あたり 13,741円
(昨年度比 + 553円)

毎日のごみ収集運搬処理にかかる費用のほか、リサイクル活動に対する奨励金や生ゴミ還元器設置補助金なども含んでいます。このうち足柄東部清掃組合への負担金は住民1人あたり8,724円になります。年間のごみ処理量は4,412トンで、住民1人1日あたりに換算すると、約1kgとなります。

汚水処理 にかかった費用 (下水道)



汚水(1㎡)をきれいにするのに 299.6円
(昨年度比 - 0.5円)

※
主に流域下水道事業を維持管理するための負担金から算出したものです。年間処理量は1,070,028㎡で、1世帯あたりでは約356㎡となりました。

※酒匂川流域の3市6町(小田原市、秦野市、南足柄市、松田町、中井町、大井町、山北町、開成町、二宮町)と県が合同で実施している公共下水道事業です。

防 災 にかかった費用 (消防費)



住民一人あたり 21,930円
(昨年度比 + 4,088円)

皆さんの命と財産を守るために設置されている、足柄消防組合や町消防団の運営、また、地震や火事、台風などの災害に備えるための対策費用が含まれます。このうち足柄消防組合への負担金は172,504,000円で住民1人あたりに換算すると14,000円となります。また、昨年度比が増となりましたのは、第1分団詰所建設によるものです。

保健福祉 にかかった費用



(民生費・衛生費)

住民一人あたり 91,510円
(昨年度比 + 601円)

高齢者・障害者・子育ての福祉や年金、住民検診などの保健事業にかかった費用です。この他にも、特別会計になりますが、国民健康保険では被保険者1人あたり302,630円、老人健康保険では被保険者1人あたり723,712円の医療費を支払ったこととなります。

PART
III

身近なサービス、かかる費用は？

※町民一人あたりの金額は、決算額を平成19年3月31日現在の人口12,322人で除算しています。

教 育 にかかった費用

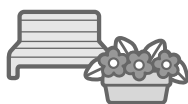


(教育費 ※人件費は除く)

園児・児童・生徒一人あたり 138,116円
(昨年度比 - 18,998円)

町立幼稚園、小・中学校の維持管理運営にかかった費用です。各幼稚園、小・中学校では、1,152人(学校基本調査H18.5.1現在)の子どもたちが学んでいます。小・中学校の教員にかかる人件費は県から直接支出されるため、幼小中すべての決算額から人件費は除いています。また、昨年度比が大幅に減となりましたのは、平成17年度で神山地域集会施設建設が完了したためです。

公 園 にかかった費用 (公園費)



住民一人あたり 4,770円
(昨年度比 + 275円)

西平畑公園、最明寺史跡公園など、11か所の公園の維持管理にかかった費用です。ただし、西平畑公園内にある各施設(ハーブ館、ハーブガーデン、子どもの館、ふるさと鉄道)の費用は含まれません。町で管理する公園面積は196,198㎡あり、住民1人あたりに換算すると約16㎡となります。※公園面積には、借地、河川区域の公園も含まれます。

飲み水 にかかった費用



(上水道・簡易水道)

飲料水(1㎡)を供給するのに 101円
(昨年度比 + 5円)

毎日の暮らしの中で使っている水道にかかる費用です。1世帯あたり平均使用量は年間約363㎡で、使用料金は年間平均で約31,234円お支払いいただいています。

道 路 にかかった費用



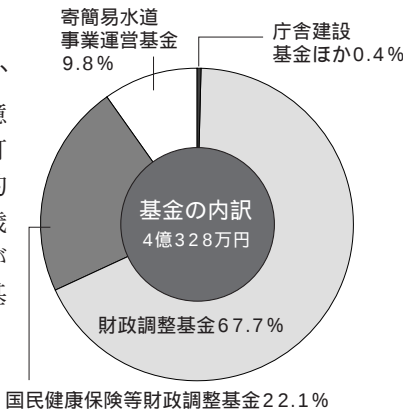
(道路維持・新設改良費)

住民一人あたり 4,036円
(昨年度比 - 338円)

道路の維持・補修・管理(舗装の補修、カーブミラーの設置、照明灯の補修など)にかかった費用です。町では平成19年4月1日現在、実延長約60km、面積約300,000㎡の町道を維持管理しています。これは幅5mの直線道路で松田町から東京都渋谷区までの距離になります。

町の貯金(基金)の総額は、

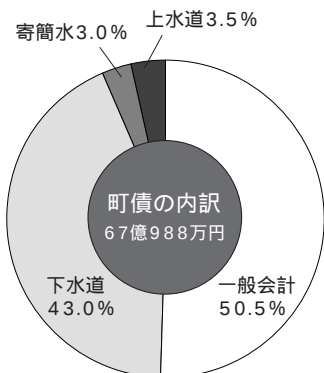
4億328万円で、昨年と比べると1億2,661万円の減額となりました。この町の貯金は、庁舎建設のような特定の目的のために積み立てるものと、後年度の歳入不足を補うための財政調整基金などがあります。平成18年度では、庁舎建設基金1,333万円と財政調整基金1億3,000万円、減債基金5,600万円の貯金をおろしました。



住民一人あたりにすると... 32,728円(H18年度末)

町の借金(町債)の総額は、

67億988万円で、昨年と比べると5,962万円減額となりました。平成18年度では、減税補てん債や、臨時財政対策債(地方交付税の一部振替え)、新松田駅南口駅前広場整備事業債、耐震性貯水槽整備事業債、第一分団詰所建設事業債として2億2,880万円、下水道整備のための8,570万円を借りました。



住民一人あたりにすると... 544,545円(H18年度末)

※減税補てん債、臨時財政対策債

国の政策により借入れを余儀なくされた借金です。これらの返済は将来、地方交付税(普通交付税の基準財政需要額)で措置されます。また、町の公債費負担比率(一般財源に占める借金の割合)は、県内35市町村のうち5番目、上郡では2番目に低い比率となっています。